



年末年始休館日は、12/28~1/4です

年末年始は、図書館はお休みです。返却本は、「本のポスト」へお願いします。壊れやすいCDやDVDは、図書館が開館してから、カウンターへご返却をお願いします。

来年も、みなさまのご来館をお待ちしております。よいお年を！



図書館カレンダー (12月)

20冊・3週間 借りられます

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

3日,13日:【講座】フラワーアレンジメント 12日,16日:【講座】向井去来



今月の展示

小説

時代小説

実用書

冬のあみもの

おせち・年賀状



館員おすすめの1冊

『守り勝つ力』 長崎創成館高校野球部監督・植田龍生^{わさだ}ノ著 (竹書房)

コロナ禍で、幻となった2020年のセンバツを含め、これまで春夏6度の甲子園出場を果たした創成館高校。その野球部を2008年から指揮をとり続けている、植田龍生監督が自身の生い立ちから、学生時代、社会人野球での選手・監督時代、そして現在の創成館野球について綴られています。

その中でも、タイトルの通り「守り勝つ野球」を目標に掲げ、どんなに苦戦しても敗戦しない試合にするために、守備力を上げる練習法についても、ポジション別に詳しく書かれてあります。また、球児達の間力も高めつつ、県民からも応援されるチーム作りを目指し、長崎の野球レベルを上げて、さらには、九州、日本球界のレベルアップにもつなげていきたいと、熱く語っておられます。心理カウンセラーの資格も生かし、野球の技術向上だけに限らず子ども達の士気の高め方や言葉かけの方法など、大変参考になるかと思われまので、是非手に取って読んでいただけたらと思います。(T)



新刊紹介



この他にもたくさんあります!
貸出中の本には予約ができます

『世界を変えた100のスピーチ』(上・下)	コリン・ソルター	原書房
『自転車日和サイクリングBOOK』		辰巳出版
『三頭の虎はひとつの山に棲めない』	マイケル・ブース	KADOKAWA
『学校に行かずに家庭で学ぶホームスクールのはじめ方』	佐々木貴広	秀和システム
『科学の名著50冊が1冊でざっと学べる』	西村 能一	KADOKAWA
『絵でわかる物理学の歴史』	並木 雅俊	講談社
『多肉植物の水栽培』	米原 政一	日本文芸社
『東京のミュージアム100』	芸術新潮編集部/編	新潮社
『テレビリサーチャーという仕事』	高橋 直子	青弓社
『江戸染まめ』(時代小説)	青山 文平	文藝春秋
『たべる生活』(食エッセイ)	群 ようこ	朝日新聞出版
『いつの空にも星が出ていた』(小説)	佐藤 多佳子	講談社



西館日和

2020年も師走に入りました。新年を迎える準備のため多少忙しくても楽しみながら過ごしていましたが、今年はやはり気分が違います。いまだコロナの渦の中、不安と心配の毎日です。この一年、図書館も翻弄されました。4月下旬から約3週間の臨時休館のあと、「密」を避けて、換気、手指消毒とマスク着用の呼びかけなど感染防止対策をとってきました。利用者の方々にも不便をおかけしてまいりました。

しかし、自粛、我慢が続けてきているのに、この狡猾なウイルスは一向に収まる気配がありません。コロナ疲れで気が緩んだところにさらに感染が広がりを見せています。感染対策はおろそかにできませんが、ときに気を休めることは必要だと思います。コロナの話題から少し離れてほかのことに没頭できる時間を作ったり、終息後にやりたいことを考え、今のうちに準備したりと楽しみをつくりだしてください。

やはりそんなとき、読書はおすすめです。図書館を利用しない手はありません。年末年始の休み前にはどうぞご家族で図書館をご利用ください。

来年は希望に満ちた年となりますように。皆様よいお年をお迎えください。